



## 世界屈指のASEANのハブ空港の拡張工事に、高知の高い技術力が貢献!!

# シンガポール事務所だより

今号では高知に本社を置く企業がシンガポールのチャンギ国際空港向けに受注している事例をご紹介します。

アジアのゲートウェイ、チャンギ国際空港は、シンガポール及び近隣アジア諸国へのアクセスも大変良い事から、ご利用された事がある方々も多いと思います。本年2016年3月、英スカイトラックス(Skytax)社が発表した世界の空港ランキングで、4年連続で総合1位の同空港は、旅客ターミナルだけでも100万㎡を超える床面積、年間利用者は5000万人を超え、また空港施設は単なる航空機の乗降のみならず、グルメ、ショッピング、アトラクションとさながら一つの観光都市の機能を総合的に持っている事から、高い評価につながっているものと言われているとされています。

増大する旅客・貨物便の需要に答えるため、シンガポール政府は滑走路の拡張及び新たなターミナルビル



積みあがったPVDの前に、技術指導の準備をしている高知の責任者

の建設を、日本の大手建設業者のJVへ発注しましたが、高知に本社を置くチカミミルテック株式会社は、その中で、軟弱地盤改良用資材PVD (Prefabricated Vertical Drain)の供給及び地盤改良の設計支援業務を受注しました。

高知には、土佐和紙からの伝統を生かした高度な紙・不織布の技術や知見に優れた歴史がありますが、現代の地盤工事に向けた最新素材開発に生かされ、同空港建設現場の軟弱な地盤の余分な水分を搾り取る土木工事に寄与しています。

主な工事範囲は、チャンギ空港第2滑走路延伸のための造成、第3滑走路(空軍)延伸のための造成、第2、第3滑走路間(第5ターミナル、MRT新駅予定地)の造成の設計施工業務で、その工事用の軟弱地盤改良用資材PVDの供給と地盤改良の設計支援の両方を受け持ちました。

空港という工事現場は、盛り土や施工機械の高さ制限という厳しい条件があり、その中で的大量施工、地盤改良の実施をするための特殊な設計支援が求められます。これには、70年に渡る紙・不織布の取り扱い経験とPVDの製造販売実績が大きく寄与しています。販売されたPVDの長さは、地球一周分に迫る膨大な量です。日本を代表する大手建設会社が受注したこの施工現場では、シンガ

ポールという国際都市国家の特徴である、国際色豊かな施工業者と施工作業員が、異なる言葉や文化の中で力を併せて仕事を進めるため、慣れるまでの苦勞が相当にあった事は想像に難くありません。

この地盤改良資材、工事の需要は、空港拡張工事にとどまらず、シンガポール西部の新港の建設や、JURON島の拡張工事にも広がりを見せています。土佐和紙の伝統に育まれ進化した技術が、成長著しいシンガポールの工事現場へ益々の広がりを見せています。

今回は、高知に本社を置く企業様の活動を取り上げさせていただきましたが、当事務所では、シンガポール及び周辺諸国における様々な市場情報の収集や皆様からのご要望にお応えできるように取り組んでまいりますので、お気軽にご相談ください。



現場でPVDを確認する日本の建設関係者